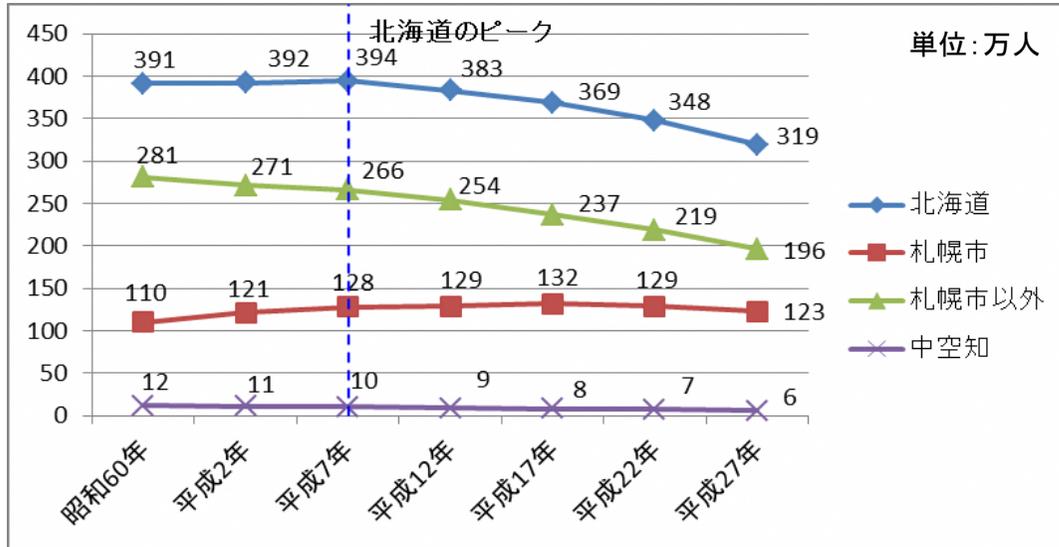


北海道・札幌市・中空知の生産年齢人口推移



※「国勢調査」(総務省)より加工

★北海道

北海道の生産年齢人口は、平成7年の394万人をピークに減少。足元(平成27年)では、ピークと比較して約20%も減少している。この水準は、平成30年代後半の人口規模である。

★札幌市

札幌市の生産年齢人口は、平成7年以降も増加しているが、平成17年以降減少に転じた。(平成7年比較 ▲4%)

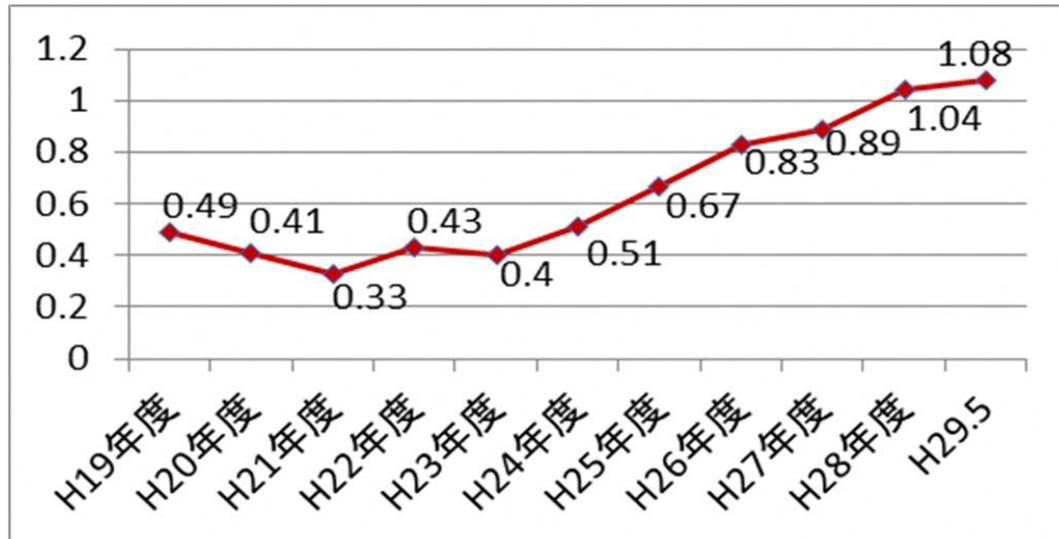
★札幌市以外

札幌市以外の地方都市は、北海道の生産年齢人口がピークであった平成7年と比較しても70万人(▲26%)もの生産年齢人口が減少。

★中空知

5年で▲1万人のペースで減少(平成7年比較 ▲40%減少)

有効求人倍率(滝川職業安定所管轄)



※ 北海道労働局資料より加工

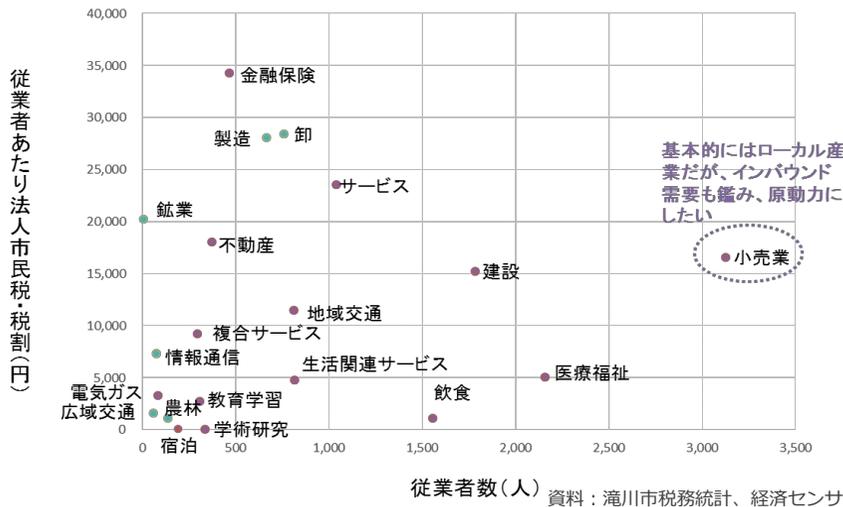
ここ数年、有効求人倍率は上昇傾向にあり、足元で1.0倍を超過～中小企業は求人難に陥る水準

⇒構造的人手不足問題

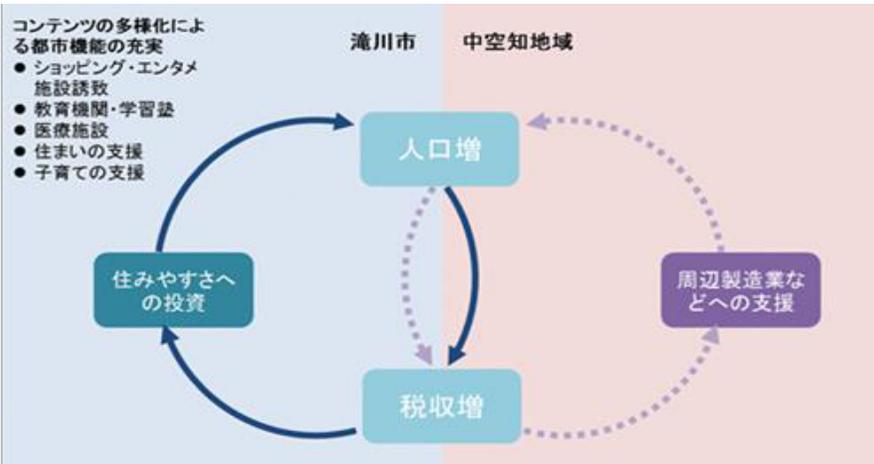
『中空知雇用プロジェクト』 ～地域産業の採用力向上を官民連携で支援～

ILO産業分析を活用した成長戦略の立案

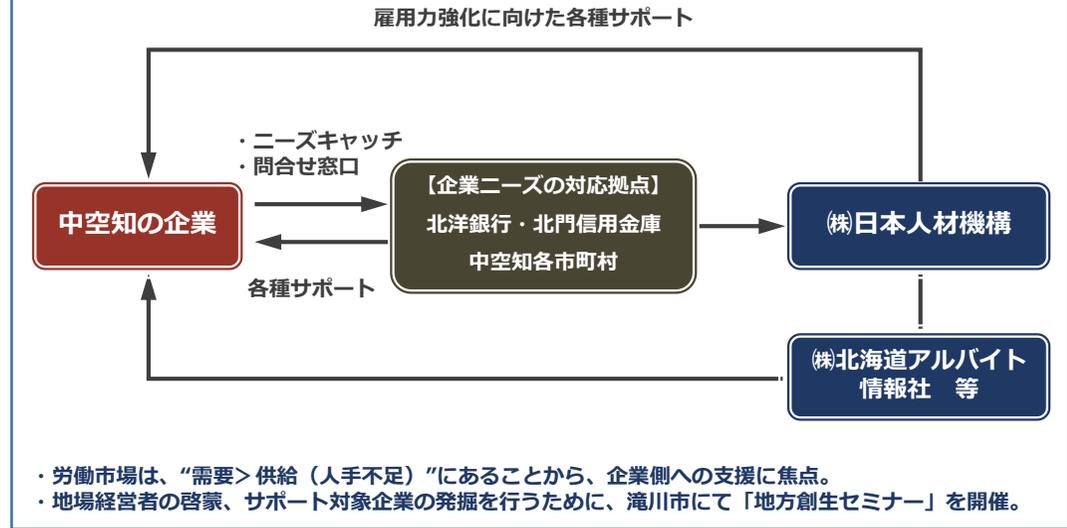
滝川市の産業別従業者数と法人市民税・税割による生産性



ILO産業分析に基づく経済戦略案



『中空知雇用プロジェクト』 スキーム図



『中空知雇用プロジェクト』の一環として地方創生セミナーを開催

▼地方創生セミナー開催要領

地方創生セミナー in 中空知
人口減少社会と企業の雇用

日時 10月11日(水) 15:00~17:30 (開催14:30) 受講料 無料 (お茶200円)

会場 マリアージュ・イン・ベルコ (滝川市大町4丁目7番38号)

1. ILO産業分析で見える中空知の成長戦略
ルートエフ株式会社 代表取締役 大塚 康樹氏

2. 人口減少社会において、何をすべきか？
株式会社 日本人材機構 代表取締役社長 小嶋 政彦氏



(株)日本人材機構の小嶋社長より、人口減少社会における人材不足解消や生産性向上について講演



▲ ルートエフ(株)大塚社長とセミナー参加者によるILO産業分析に基づく中空知の成長戦略についてのディスカッション